

広報特別委員会記録

令和6年1月22日

【開催日】 令和6年1月22日（月）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時30分～午後3時1分

【出席委員】

委員長	恒 松 恵 子	副委員長	古 豊 和 恵
委員	岡 山 明	委員	福 田 勝 政
委員	松 尾 数 則		矢 田 松 夫

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

局次長	中 村 潤之介	庶務調査係書記	若 野 みちる
-----	---------	---------	---------

【付議事項】

- 1 令和5年10月16、17日開催の意見交換会で聴取した意見について
- 2 その他

午後1時30分 開会

恒松恵子委員長 それでは定刻になりましたので、広報特別委員会を開催いたします。タブレットの次第のとおり、本日の付議事項1、令和5年10月16日、17日開催のモニター意見交換会で聴取した意見について、審査いたします。では、タブレットの次のページ、市議会モニターからの意見は3件ございます。上から順に審査したいと思います。まず、「ウェブアンケートを取ったらどうか」、例えば、ユーチューブをどうやったら皆さんに見えていただけるかなどの意見がございます。これについて、皆さんの御意見をお伺いいたします。

松尾数則委員 確認したいんですが、ユーチューブを見る人が少ないからどうやったら多くの人にユーチューブを見てもらえるかという手段を考える

ということですね。

恒松恵子委員長 ユーチューブの見方に対する提案ではなくて、ユーチューブをどうやったら広く見ていただけるかなどを踏まえて、ウェブアンケートを取ったらどうかという御意見でございます。それについて、ほかに御意見はございませんか。

松尾数則委員 ユーチューブの見方をまず指導しなきゃいけないかなという気はするんです。年寄りにはユーチューブにあまり縁がない人が、私どものほうで多いんですよ。

恒松恵子委員長 ウェブアンケートについては、御年配の方、年齢によってもウェブアンケートに答えやすい方、答えにくい方と、それぞれ環境が異なると思います。事務局サイドでウェブアンケートの作成について可能かどうか、まずお尋ねいたします。

若野議会事務局庶務調査係書記 ウェブアンケートを取る手法については、今のところ二つ考えておりまして……ウェブ上にアンケートのフォームをつくることは可能です。以上です。

恒松恵子委員長 ウェブフォームの作成は可能ということです。取りあえず、アンケートについて回答はまだ分かりませんので、費用もかからずに可能であれば、ウェブアンケートについては前向きに進めてまいりますという回答ができると思うんですが、皆様御意見はございませんか。

岡山明委員 私もウェブアンケートが分からんのですが、方法を……私がやっているアンケートと思うのですが、これ当然こっちのほうのアドレス番号とかみんな連絡しないといけないけど、その辺はアドレスとかの報告なしで、例えば事務局経由でアンケートが出せるかどうか。その辺は、個人情報じゃないけど、個人のアドレスを出さんでも、事務局に報

告という形で、アンケートが取れるかどうか。そういう部分が私もよく分からんのですが、もし分かれば教えてください。

恒松恵子委員長 アンケートの形態になろうかと思います。例えば、通常のウェブアンケートであれば、メールアドレスの登録、氏名を記入するところがございますが、匿名でのアンケートが可能かどうか。どのような形を考えか事務局お答えいただいてよろしいですか。

若野議会事務局庶務調査係書記 先ほど、私が二つ手法があると申し上げたんですが、今考えているのが、山口電子申請サービスというものがございます。それについては、登録してログインしなくても出すことができるような手法も取れます。もう一つが本市のホームページ上で、アンケートを取る手法もあります。それについては事務局宛てにメールが届くようにはなるんですけれども、メールアドレスがこちらに届くわけではないので、そのアンケートの中にメールアドレス、個人情報を記載する項目がなければ、どちらとも個人情報を取得しなくても、アンケート自体は取れる手法となっております。以上です。

恒松恵子委員長 登録なしでアンケートを取れるとのことでした。匿名でのアンケートが可能との回答でした。あわせて、費用については2パターンどのようなようになっておりますか。

若野議会事務局庶務調査係書記 新たに費用がかかるものでは、どちらともございません。以上です。

恒松恵子委員長 費用はかからないとのことですが、やはり市議会モニターからの御意見でございますし、アンケートにより回答がどのようなになるか全く不明ではございますが、ウェブアンケートについては前向きに進めたいと思いますけれども、皆様御意見いかがですか。

松尾数則委員 基本的によく理解してないんです。ウェブアンケートでどういう形になるのかもよく理解していない。実際に、確かめてみる方法がありますか、今この場で。

中村議会事務局次長 私は議会事務局に来て今7年目ですけれども、一度もつくったことはありません。こういう意見が出てから、どういうやり方があるか調べた程度で、まだ実際につくったことはありません。だから、試しで、例えば、個人的に勉強して、家で作ってみることをしてから、委員会の場じゃなくて、その前の段階で議員の皆さんに御説明という形しか今はできないかなと思っています。ただ、ユーチューブ等でも作り方を見たんですけれども、それほど難しくないと思います。つくるの自体はですね。だから、議員の皆さんができるという言い方じゃないんですけれども、議員の皆さんに最終的にやっていただくようになると思いますから、それほど難しくはないんです。問題は、ウェブアンケート自体とつきにくいと思っていらっしゃる方もやっぱりいらっしゃる可能性があるんで、これはウェブアンケートについての意見だけですけれども、それ以外にもどのようなアンケートの手法があるかも併せて考えたほうが本当はよろしいんじゃないかなと思います。実は、この間のモニター意見交換会の際にも、この話が出まして、返信用はがきを入れたらいいんじゃないかという意見も出たぐらいです。アンケートの項目を書いて、議会だよりに全部入れ込んで送ったらどうかという御意見も出たぐらいです。すぐというのは今難しいでしょうけれども、事務局も併せて検討しつつ、議員の皆さんも検討しつつという御回答が今の時点では最大限かなと思います。

恒松恵子委員長 今の事務局の御意見を鑑みて、皆さんございませんか。

岡山明委員 それともう一つ、肝腎要のこのウェブアンケートは何を目的としたアンケートなのか、私はよく分からないんです。（発言する者あり）その辺の趣旨も私はよく分からない状況です。形式については、匿名で

個人情報もしっかり守られた形でできるという話があるんですけど、このウェブアンケートは、広報特別委員会として何を目的にアンケートを取るのかと。その辺の確認をしたいんですけど。

恒松恵子委員長 岡山委員のおっしゃるとおり、ウェブアンケートの内容についても協議が必要でございます。また、ウェブアンケートでもらった意見をどう反映させるか。今、次長がおっしゃったように、つくるのはできるけれども、どのような形態かまだ全く委員会でも審査ができてない状況ですので、取り急ぎ今回の回答に至りましては、前向きに検討しますと。内容と頂いた意見をどう反映させるか、また広聴特別委員会との協議も必要になろうと思いますので、「前向きに検討します」の回答になろうかと思いますが、皆様御意見ございますか。

矢田松夫委員 中村次長、この前、広聴特別委員会で議会報告会の動画をつかったよね。そのときに、最後にアンケートを出したと思う。1件も返信はなかったけど、ああいうやり方を想像するんですか。全く違うんですか。

若野議会事務局庶務調査係書記 今、矢田委員が言われているのは、広聴特別委員会で議会報告動画を作成したものをユーチューブ上にアップして、概要欄でアンケートの御案内をして、URLを貼って、それをクリックするとホームページに飛ぶようになっております。ホームページにアンケート用紙のPDFが貼っております。そのPDFに記入していただいて、ファックス等で議会事務局まで返送してくださいというものになります。ウェブアンケートというよりは、紙媒体のやり取りになると思います、今言われているものは。ウェブアンケートは紙とかを使わずに、インターネット上でアンケートの用紙が——スマホだったり、パソコンだったりで見れて、インターネット上で記入して、紙媒体を使わず、電子でこちらのほうに届くものになりますので、広聴特別委員会の動画のものとはまた別になります。以上です。

恒松恵子委員長　今、矢田委員のおっしゃったとおり、現在の議会報告会動画でアンケートはあるけれども、PDFで印刷してからの回答になるということで手軽にはできないという回答であったと思います。ということは、今頂いた意見のこれからの活用等も含めまして、やはり今回の回答は、結論が出ないままに広聴特別委員会と協議の上、前向きに検討しますという回答になろうかと思いますが、皆様ほかに御意見ございますか。

矢田松夫委員　さっき岡山委員が言われた目的です。何のためやるのか目的をしっかりとスタートの段階で議論しておかんと。やるのが手段であって、目的がぼけたらいけないから、その辺の腹づもりはしなくていいですか。

中村議会事務局次長　さっき矢田委員がおっしゃった、若野も説明しましたが、現在のホームページに載せているPDFでのアンケート、直接紙で提出していただく、メールで返信していただいてもいいんですけども、その項目として今あるのは、「ユーチューブによる議会報告会の開催をどのようにして知りましたか」、次が「議長挨拶について感想をお聞かせください」、その次が「それぞれ3常任委員会の報告についての感想をお聞かせください」、そして最後が「その他気づきがありましたら」、現在のアンケートはこの項目です。だから、この項目プラスアルファにするのか、この項目を削って何かこういうアンケートを取ったらいいんじゃないかというのは、また委員の皆さんで御協議する内容になろうかなと思います。以上です。

矢田松夫委員　それを広報特別委員会にどのように生かすかちゅうことやろ、最終的に。それをしっかりせんと。今、一つのアンケートの項目を挙げたんじゃけど、その主たる目的ちゅうんか、岡山委員の言われた何のためやるかちゅう……これは市議会モニターから意見が出たんやけど、市議会モニターが何のためにこれを出したのかというのは、しっかりしておかないと。広聴特別委員会の中でも、僕と岡山委員はおったから分

かるけど、確かに市議会モニターから意見が出たんやけど、その市議会モニターがどういう目的で言うたのかっちゅうのは、岡山委員、覚えてないですね。今、次長が言われた項目はどっから出たのか僕は覚えてないんだけど、確かに項目は大事な問題と思う。だけど、その基本が何のためにあるのか。

中村議会事務局次長 矢田委員がおっしゃった、どこからという意図が諮りかねるんですけども、動画の件のアンケートという可能性も……先ほど私が申したのは議会報告会についてです。例えば、それ以外にも議会だよりについてのウェブアンケートという可能性もあるでしょうし、それ以外に広報特別委員会でしたら……議会報告会は今、広聴特別委員会になっていますけど、実質広報特別委員会という微妙な扱いではあるんです。今言ったように動画についてのことを聞くでもいいでしょうし、これはアンケート項目としては広聴特別委員会にお願いするようになるかもしれませんが、今大まかにぱっと思いつくのはその二つぐらいかなと思います。例えば、それ以外にも、今完全には思い立ったものですけど、例えば、傍聴席に入るまでの動線が暗いという御意見があったのでライトつけましたけど、それ以外に議場についてのアンケートとかを取ったりとか、傍聴席についてのアンケートを取ったりとか、そういう項目が別項目としてはあろうかと思います。現在、議会だよりと議会報告会が主だったところになるのかなと思います。あと、出どころと言われると、真意が諮りかねるのでお答えが難しいと思います。

恒松恵子委員長 伺ったとおり、今あるアンケートにつきましては、議会報告会動画を見てのアンケートと思われる内容だと思います。今、広報特別委員会に生かすためのアンケートといたしましては、例えば、傍聴席の場所であるとか、議会だよりをどうするかとか、そのアンケート内容について変更はすぐ可能でございますか。

中村議会事務局次長 変更自体は可能です。あとは皆さんのコンセンサスだけ

取っていただければ。以上です。

恒松恵子委員長 次長の御意見も伺いましたとおり、アンケートは確かに目的が必要ではございますが、モニターの真意を諮りかねることもございますので、このたびの回答につきましては「広聴特別委員会と改めて協議し、アンケート内容に対して委員会でも審査して、前向きに検討する」という回答でいかがでしょうか。

松尾数則委員 市議会モニターの真意ということで……これは、たしか僕が出た意見交換会で出た意見のような気がするんですが、アンケートに対する意見が1個もなかったからウェブアンケートでも取ったらどうかというような意見だったような気がします。だから、委員長の言われるように、いろんな方向に発展させて、議会だよりも含め、いろんなウェブアンケートを取るような方向を考えていけたらいいんじゃないかなと思っています。

恒松恵子委員長 匿名でも可能であるということ、アンケートの内容については随時変更が可能であるとのこと。また、市議会モニターの真意について広聴特別委員会との改めて協議も必要だと思います。本日の回答については、先ほど申し上げたとおり前向きに検討するということでよろしいでしょうか。

中村議会事務局次長 今、皆さんによろしいですかと委員長が諮ったところで口を挟んで大変申し訳ないです。私もそんなに詳しいわけではないんですけど、恐らくそのウェブアンケートをQRコードで作成することができます。例えば、先ほどの議会報告動画についてのアンケートは、市のホームページでアンケートのPDFをダウンロードしないと、結局、答えていただけないんですね。結局その情報にたどり着くまでに、まず、壁がある状態です。例えば、それをなくそうと思えば、ウェブアンケートをつくって、そのQRコードをつくって、今回議会カフェのチラシを

つくって、その中にQRコードを貼ります。例えば、何日から動画が配信されるので、その日からウェブアンケートができますので、それからQRコードを読み込んでアンケートに答えてくださいという方法もあるでしょうし、発展的な方法はいろいろあると思いますので、そこも踏まえて今から議論していけばよろしいんじゃないかなと思います。今日の時点の回答にはなりませんけれども、たくさん検討の余地があるウェブアンケートという項目だと思っています。

恒松恵子委員長 ウェブアンケートにつきましては、ウェブアンケートの取得方法、またアンケートに対する御意見を頂いたところでどのように回答するか、目的、何についてアンケートを取るのか、本当に幅広いことでございますので、取り急ぎ先ほどから申し上げたとおり、前向きに広聴特別委員会と協議するという形になろうかと思いますが、この方向性は皆様よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）1番の意見については、このように回答させていただきます。続きまして、次の御意見、「議会だよりの視察報告に関し、もっと効果的、具体的な内容となるように期待したい」という御意見でございますが、これについては皆様どう思われますか。議会だよりの視察報告のページにつきましては、全員協議会で報告もございますが、その後、議会だより内の記事をそれぞれ視察に行かれた方に書いていただいて、文責については視察者にあるということに現在となっております。

中村議会事務局次長 これは大変厳しい意見だったんです。内容はこのように柔らかく書いてありますけれども、視察に行かれて、行った内容は分かるけど、それが結局議会として、例えば、その後の政策に反映されたのかというところまでをしっかりと載せてほしいという御意見でした。今の内容は十分分かるけれども、行ったことによってどういうものを得られたのか、そこが分からないという御意見でした。だから、視察の報告の内容どころじゃなくて、その先の話も踏まえた話になっていますということでお伝えしておきます。

恒松恵子委員長 これについては議員の資質についても指導があって、一時的な報告でなくても、継続して市議会モニター、ひいては市民が見守りたいという御意向かと思えますけれども、今後どのようにしていけば視察が市政、市議会として生かせるかどうか、個人として生かせるかどうかという御意見であるようですが、皆様御意見ございますか。

矢田松夫委員 基本的に議会が視察に行った報告だから、報告すればよいです。しかし、市民から見たら、今次長が言ったように、その結果どうなったのかちゅうのは今度載せるしかないんじゃないですか、結果は。その報告した内容はどのように生かされたのか、市政に反映されたのかということフィードバックするしかないんじゃないかな、紙面で。何かほかに手段があるかね。ないだろう。議員がチラシを、自分で個人ニュースを配って、どこに行ったから一般質問しましたよとか、後に市政に反映しましたというぐらいしかないと思うけど、ほかに案があれば考えてもいいけど。報告書やからどうなんかね、僕はそれ以上言いようがないんだけど。

恒松恵子委員長 矢田委員のおっしゃるとおり、フィードバックするとしたら、例えば、1年前とか、半年前、過去の記事に遡って、このときの視察内容が今回の予算に生かされたとか、新しい施策に生かされたとか、そのように継続的に中身を追いかける必要があるという御意見でございました。もちろん、議会だよりで過去の視察を追うというような記事を作成することは可能でございます。ただ、全く施策に反映されない視察もありますので、その辺りをどのように判断していくか。もちろん、議会だよりでページを作成することは可能でございますが、またこれもすぐに回答ができるものでもないのかなと思います。

若野議会事務局庶務調査係書記 議会だよりの視察報告については、先ほど恒松委員長が言われたとおり、全員協議会で視察報告した後に、定例会後

の議会だよりに載せております。その後の進捗状況は、議会だよりに載せる手法もあるんですが、例えば、ホームページでしたら随時更新が可能なものなので、定例会後でしたら3か月か4か月に1回となるんですけども、随時更新ということを考えれば、ホームページへの掲載も考えられるかなと思います。以上です。

矢田松夫委員　そういう場合は、会派で視察に行くんならいいけど、無所属は載せられるんですか。

恒松恵子委員長　個人の視察報告もホームページに載せられるのかという御質問ですけれども、会派でない方も載せていますよね。

中村議会事務局次長　載せる基準は、恐らく全員協議会で報告した視察に関しては載せられるだろうという判断をしたはずです。あともう一つ、公費を使った、政務活動費を使ったものについては載せるということです。で、個人か会派かは問うてはいないと思います。なので、載せられるという判断でいいと思います。

恒松恵子委員長　事務局からの御意見を踏まえて、ホームページであれば視察内容について、例えば赤字で上書きしてこのようになりましたとか、このように反映されましたという報告は可能であると私は思いました。議会だよりのページを使うよりは、ホームページ上のほうがこのような効果があったとは載せやすい。ただ、自分たちの見識を深めただけで、反映できない場合もたくさんございます。その辺りも踏まえて、ホームページを活用して効果について御報告するという形にするか、それとも、もう現在で御勘弁くださいというか、現在の報告で、あとは議員の資質向上に努めますという回答にするか、そのほか何か回答に関して御意見ございますか。

福田勝政委員　私は今までどおりでいいと思うんですよ。というのは、効果的、

具体的な内容と書いてありますけど、効果的と具体的っちゅうのは、ある意味同じようなことじゃないですか。だから、議員が視察に行ったんだから僕は今までどおりでいいと思います。

恒松恵子委員長 福田委員のおっしゃるとおり、議員が行ったのだから効果的具体的で、とにかく視察に意義のあるものでないかという御意見はごもつともでございますので、何らかの形でホームページを更新するなりするという回答でどうですか。

松尾数則委員 全員がホームページを持っているわけじゃないですからね。なかなか結構難しいかなという気がしなくはないかなと。

恒松恵子委員長 更新については事務局が……議会のホームページです。個人での講演会だより等使われるのは、もちろん自由でございます。

松尾数則委員 個人のホームページによく載っていますよね。視察報告をやったら、個人のホームページに出ているんです。ただ、矢田議員が言われたとおり成果が出るには、視察に行ってから何か月も何年もかかる。だから、それを期待したいという表現ですから、そのように期待できるような内容にはしたいとはもちろん思っています。その程度でいいんじゃないかな。

恒松恵子委員長 今、私もホームページに載せてはどうかと申し上げましたけれども、成果が出る視察内容と出ない視察内容と、視察にはいろんなパターンがございます。委員会での視察もあるし、会派で行く視察、個人の政務活動費で行く視察等ございます。これにつきましては、具体的に回答するには時期早尚であるということで、成果が出るように努力しますという回答でよいか、皆様の御意見を改めて伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

岡山明委員　私も委員長が言われたように、この質問なんですけど、効果的、また具体的にという状況です。視察に行つてその部分がどう影響したかという話になりますよね。じゃあ、視察に行つて、どうのこうのと言うて、すぐ施策に反映できるかという状況じゃないです。この質問内容が直近の視察に行つて成果が出たかと。そういう形で質問されていますが、私はもう少し中長期的な考え方、その辺の質問の内容にさせていただけないと。こういう質問があるから、どうしようもないんでしょうけど、視察に対してどうのこうのと、すぐ言える状況じゃないってことです。さっき委員長が言われたように、今後、随時どういう形でいくかということで、今後の進め方の上で、もしできるんならいいんでしょうけど、恐らく難しいと思います。さっき委員長が言った形で進められていいんじゃないかと思います。

恒松恵子委員長　今、岡山委員がおっしゃいました議会だよりで追いかける、ホームページを使うなどの手法はございますけれども、やはり中長期的な考えに基づき、すぐに政策に反映されるものでないということは私も議員としてももちろん承知しております。資質向上には努めますけれども、視察に対して成果が出るように努力しますという具体的な回答は控えまして、努力するというような形の回答で、皆様、委員会としての回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、皆様から良いと言われましたので、二番目の意見についてはこのように回答させていただきます。それでは、三番目の……

矢田松夫委員　努力する……

恒松恵子委員長　成果が出るように努力します。

矢田松夫委員　「成果が出るようにします」じゃいけないのかね。

恒松恵子委員長　成果が出るように……努力は省いて……

矢田松夫委員 「します」のがいいと思うんじゃないけど。たしか、さっき次長が言ったようなことが書いてあった。これを読んでもみると、令和5年10月16日のモニターの意見交換会のモニターからの意見です。岡山委員、思い出してね。松尾委員もおったけど。「議会だよりの視察報告を見て、視察に行く目的は一体何であるのか。視察で学んだことは何かあるのか。執行部に提言したことは何かあるのか。もっと効果的、具体的に伝える内容にできないものかと感じた」ということです。議会だよりの視察報告について、市議会モニターの意見を聞いているんだから、そのようにしますと。議会だよりの紙面にしますと言ったほうがいいと思うね。報告会イコール議会だより、議会だよりイコール報告会の内容については、そのようにしますと、紙面にしますと、結果は。違うんですか。

恒松恵子委員長 今の矢田委員の御意見のとおり、視察には子育て支援であるとか、RMOであるとか、ガラスであるとか、すぐに結果が出るものも出ないものもございますが、曖昧な表現は使わず、「成果が出るようにします」という、曖昧な表現を避けるという矢田委員の御意見を踏まえて回答を変更させていただこうと思いますが、よろしいですか。

岡山明委員 これは、広報特別委員会からその視察者に対して提案するということですよね。広報特別委員会は視察報告書が来て、それを検討するという状況で、中身についての話は委員長から視察者に対して、そういうアンケートの形に整えろと、そういう形で書くという状況。広報特別委員会から言える内容としてはそういうふうなんでしょう。委員長から視察者に対して、議会だよりの記入はそういう形でせいと回答として出るっちゅうことですな。

恒松恵子委員長 現在、視察報告につきましては、各議員、視察行った方が記事を書かれておりますので、広報特別委員会としてどう関わるかということになると、非常に難しい問題でございます。ただ、市議会モニター

には回答が必要です。かといって、皆さんが一生懸命視察に行かれたのを広報特別委員会が指導すると、議会だよりの作成の文章の表現につきましてこちらが指導するというわけにもいかないと思います。広報特別委員会としては期待したいとのことですので、成果が出るようにしますとの回答になろうかと思いますが、いかがですか。

矢田松夫委員 結局、議会だよりにそういうものを載せろということで広報特別委員会に来たんであって、本当は公金を使って何をしよるか、真面目にしろよということが目的だよね、違うんですか。それなら、議会運営委員会で行った成果を出せよと、視察に物見遊山で行くんじゃないよと、きちっとフィードバックして市民に応えるような視察に行きなさいよと、モニターの皆さんは、こういうことが言いたかったと思うよ。ただ、議会だよりにどういうふうに載せるか。追跡調査して載せるのは不可能だよね。だから、委員も変わるし、議員も変わるし、ただ一般質問で行った成果を出せと言うんなら、指導、監督するならば、ちょっと場所が違うんじゃないかなと思うんです。振り分けたところがいけなかった、広聴特別委員会が広報特別委員会に持っていったっちゃうのが、いけなかった。

恒松恵子委員長 時間も経過しましたので、暫時休憩したいと思います。

午後 2 時 9 分 休憩

午後 2 時 25 分 再開

恒松恵子委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。先ほどの二番目の御意見、「議会だよりの視察報告に関し、もっと効果的、具体的な内容となるように期待したい」という声に関しまして、やはり議会だよりの視察報告に対する御意見であるということを鑑みまして、

議会として視察が有意義であったことが市民の皆様に分かりやすい議会だよりの記事になるように努めますということ、また、成果や今後の方向性などについての記事になるように広報特別委員会として適切に伝えますという回答でいかがでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）それでは皆様、意見が一致しましたので、二番目の御意見につきましては、このように回答させていただきます。続きまして、三つ目の市議会モニターからの御意見でございます。「市民の声、モニターの声をもっと議会だよりに載せるべきではないか」という御意見でございます。この御意見に関しましては、同様の御意見を前回頂いておりますので、それについての回答をどのようにされたか、事務局分かればお答えいただけますか。

若野議会事務局庶務調査係書記 モニターの声をというところに関して、7月12日、13日、14日開催のモニターの意見交換会で聴取した意見で、同じような意見がございました。「モニター意見への対応が不誠実である。会議録をしっかりと確認して、取り上げた意見を議会だよりに掲載してほしい」という意見がございました。それに対しまして、「議会だよりの紙面構成を考慮しつつ、内容に応じて紙面を確保し、可能な限りモニターからの意見を掲載します」と回答しております。以上です。

恒松恵子委員長 今のお話のとおり、内容であるとか紙面構成であるとか、紙面の限りもでございます。皆様、御意見はございますか。（発言する者あり）今の回答について、結局、前回同様になるのかどうか分かりませんが……

福田勝政委員 市議会モニターの意見はよく分かるんですけど、市民の声というのは、いろんな要望、市民の声を、議員が質問になる場合もあると思うんですよね。だから、市民の声というよりは、議員の一般質問を、いろんな市民の要望をまとめて、恐らく一般質問されると思うんです。だから、市議会モニターの声も大事なんですけど、そういった点から

見て、市民の声を載せると……僕は思うんですけど。

恒松恵子委員長 福田委員のおっしゃるとおり、私ども市民の声につきましては、私ども議員それぞれが、一般質問なりで反映させるように努力すべきでございます。市議会モニターからの声、市民の声につきましては、以前の議会だよりで広報紙をつくっていらっしゃる竹灯会、高校生の方の意見を載せたこともございます。このたびの回答につきましては、紙面構成と内容もございますが、どのような回答がいいかどうかの案はございますか。

矢田松夫委員 ここは二つの方向、一つは市議会モニターの声と市民の声。市議会モニターのほうは、さっき事務局が言われた内容で、今まで掲載しているし、今からもそういうことでいいんだと。一つの区切りをしないと。市民の声で今ごっちゃになっている。市議会モニターについて私はそれでいいと思います。

恒松恵子委員長 市民の声については何かありますか。

矢田松夫委員 市民の声を載せるということは、恐らく、今まで旧山陽町もそうやったけど、市民の代表者の方が登場して、今の議会及び市政について語るという記事を出してくれんかという望みやないかと思います。市民の声をバックにして付託されて、さっき福田委員が言われたように一般質問なりしているんだけど、この場合は、議会だよりの紙面の掲載についての市議会モニターの意見だと思うんだけど、違うかな。

恒松恵子委員長 議会だよりに関する御意見であると、私どもこのように預かっております。

矢田松夫委員 市民の代表者の声、登場してもらう紙面をつくってもいいと、私は思います。

恒松恵子委員長 市民団体の代表であるとか、市民の方の声を聞いたような記事を新しく議会だよりに設けるということも可能でございます。ということは、委員会といたしましては、市議会モニターの声は前回の回答のとおり、市民の声につきましてはまだ今後委員会で、どのような市民団体の声を聞くかとか協議の上、市民の声を議会だよりに載せるように努力しますという回答が……同じになりますけれども、御異議はございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）では、三番目の「市民の声、モニターの声」、もっと議会だよりに載せるべきではないか」という回答につきましては、全ては不可能ですので、内容や紙面構成を鑑みて可能な限りモニターの声は掲載するようにするという、市民の声につきましては、どのような市民の声を議会だよりに載せるか、また広報特別委員会で協議の上、積極的に市民の声を掲載できるように努力しますという回答になろうかと思いますが、ほかに御意見ございますか。

中村議会事務局次長 広聴特別委員会の手段としては、一番分かりやすいのは議会カフェ、市民懇談会、市議会モニターは今は別でしたので、市議会モニターは省きます。請願、陳情についても、過去、広報特別委員会で載せることになっていますので、主立ったところは最初述べた二つが市民の声が届きやすいものになろうかと思しますので、その辺りを想定しておけばよろしいのかなと思います。

恒松恵子委員長 事務局のおっしゃるとおり、議会カフェで頂いた御意見であるとか、市民懇談会で頂いた意見についても、また委員会で審査の上、議会だよりに積極的に記事を書いていく方向性でいこうと思います。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）付議事項１の三つについて、あらかた回答の方向性が出ました。ということで、次に、その他、何かございますか。取りあえず、三つ意見がそろったところで、暫時休憩したいと思います。それでは休憩します。

午後 2 時 3 3 分 休憩

午後 3 時 再開

恒松恵子委員長 それでは休憩を解きまして、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。それでは、先ほどモニターからの意見をまとめたものを追加資料として掲載しております。こちらの資料につきまして、御意見はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、先ほどまとめたもので新しい御意見がないようですので、こちらの 3 点につきまして、広報特別委員会からの回答とさせていただきます。続きまして、付議事項 2、その他につきまして何かございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、ないとのことですので、以上をもちまして広報特別委員会を終了いたします。お疲れさまでございました。

午後 3 時 1 分 散会

令和 6 年（2024 年） 1 月 2 2 日

広報特別委員長 恒 松 恵 子